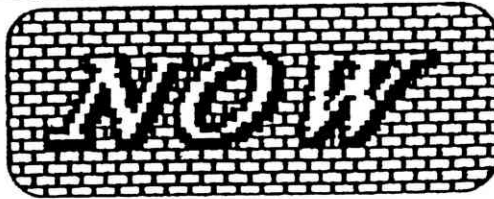


らいぶらり

附属図書館速報誌



No.9

発行: 1992.7.15

発行:

東北大学附属図書館

はれやまもんじょ  
晴山文書のマイクロ化について

本館では、岩手県九戸郡大野村と協力し、「晴山文書」のマイクロ化事業を進めていたが、その内の一部(46冊-マイクロフィルム10本)がこのたびでき上り、大野村から本館へ寄贈された。

「晴山文書」は岩手県九戸郡大野村の旧家晴山家で代々記録されていた安永7年(1778)から昭和21年(1946)までの経営関係資料で、わが国における近世以降の農村社会を研究する上で貴重な学術資料である。

同文庫は、木下 彰経済学部教授(のち名誉教授・故人)が昭和26年に文部省科学研究費補助金により購入されたもので、経済学部で大事に管理・利用されてきたが平成2年附属図書館に寄贈されたものである。

今回の第一期計画では、「晴山文書」886冊の内165冊を3ヵ年でマイクロ化することになっているが、残りについても第2期以降で計画されている。

なお、木下 彰名誉教授は「晴山文書」の分析を通じて「名子遺制の構造とその崩壊」(お茶の水書房、1979)等の研究により昭和56年度日本学士院賞を受賞されている。